



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月29日

上場取引所 大

上場会社名 サンコール株式会社
コード番号 5985 URL <http://www.suncall.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田茂次

問合せ先責任者 (役職名) 業務・管理部門長 (氏名) 和田英夫

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日

TEL 075-881-5280
平成22年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	16,196	28.9	1,531	143.8	1,363	118.4	796	156.6
22年3月期第2四半期	12,566	△27.9	628	△52.6	624	△54.2	310	△59.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	24.43	24.29
22年3月期第2四半期	9.26	9.21

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	34,274	24,697	71.7	771.01
22年3月期	34,267	24,810	72.1	757.55

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 24,580百万円 22年3月期 24,711百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	3.00	—	12.00	15.00
23年3月期	—	7.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	8.00	15.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	7.7	2,300	13.6	2,200	2.4	1,500	25.5	45.99

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.2「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 34,057,923株 22年3月期 34,057,923株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 2,177,571株 22年3月期 1,437,701株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 32,615,509株 22年3月期2Q 33,546,782株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9
(1) 製品区分別の売上実績	9
(2) 海外売上高	10

※ 当社は、11月に投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

①全般的概況

[経済及び事業環境]

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による補助金・減税のインセンティブにも支えられ回復基調が続いておりましたが、第2四半期に入って新興国の景気も勢いが弱まり、米国経済の減速懸念も強まってきました。さらに、急速な円高も重なり、持ち直しつつあった景気は足踏み状態となっています。米国など海外経済の不透明感は依然強く、円高基調が続いており、デフレの影響などもあり景気が下振れするリスクが強まっています。

[連結業績]

当社グループの売上高は、回復基調が続いたことから161億96百万円（前年同期間比28.9%増）となりました。

利益面につきましては、急速な円高による影響を受けましたが、営業利益、経常利益、四半期純利益は、それぞれ15億31百万円（前年同期間比143.8%増）、13億63百万円（前年同期間比118.4%増）、7億96百万円（前年同期間比156.6%増）となりました。

②セグメント別の業績

[日本]

当社は自動車関連の機能材料及び機能部品は需要回復を受けて好調に推移しましたが、サスペンションが量産立上りの遅れや急速な円高の影響を受けました。国内子会社は順調に回復してきました。結果として売上高は133億53百万円、セグメント利益は16億40百万円となりました。

[米国]

米国子会社の光通信用部品については市場の回復を背景に拡販活動を続けており売上が前年同期に比べ増えました。一方、自動車関連精密部品は売上、利益とも回復していますが最盛期の水準には至っていません。結果として売上高は11億68百万円、セグメント損失は14百万円となりました。

[アジア]

香港子会社でプリンター用軽量ローラーが新規量産開始となり、ベトナム及びタイの子会社でもプリンター関連部品は好調を維持しました。自動車関連精密部品はタイ子会社では好調でしたが、中国子会社では売上は前年同期に比べ上回りましたが、人件費の上昇などコスト増となりました。結果として、売上高は31億62百万円、セグメント利益は1億99百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産・負債・純資産の状況

[資産]

総資産は、342億74百万円（前連結会計年度末比7百万円増）となりました。これは、商品及び製品が2億3百万円、原材料及び貯蔵品が4億47百万円、機械装置及び運搬具が2億45百万円増加した一方で、現金及び預金が3億86百万円、株価下落により投資有価証券が3億70百万円減少したこと等によるものです。

[負債]

負債は、95億76百万円（前連結会計年度末比1億19百万円増）となりました。これは、支払手形及び買掛金が4億72百万円増加した一方で、未払法人税等が1億68百万円減少したこと等によるものです。

[純資産]

純資産は、246億97百万円（前連結会計年度末比1億12百万円減）となりました。これは利益剰余金が4億5百万円増加したものの、株価下落によりその他有価証券評価差額金が2億22百万円減少、自己株式（控除科目）が買付け等により2億74百万円増加したこと等によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物は、75億77百万円（前連結会計年度末比3億86百万円減）となりました。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動によるキャッシュ・フローは16億4百万円の収入（前年同期間比6億55百万円減）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益（13億15百万円）や減価償却費（11億48百万円）、仕入債務の増加（5億2百万円）等の増加要因に対し、たな卸資産の増加（6億72百万円）や法人税等の支払額（6億75百万円）等の減少要因があったことによるものです。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動によるキャッシュ・フローは、12億円の支出（前年同期間比5億44百万円増）となりました。これは、主に固定資産の取得による支出（12億10百万円）があったことによるものです。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動によるキャッシュ・フローは、7億61百万円の支出（前年同期間比4億96百万円増）となりました。これは、主に配当金の支払（3億90百万円）と自己株式の取得による支出（2億74百万円）があったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の連結業績予想につきましては、平成22年5月14日に発表の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理の概要

固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

この変更による損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,680	8,066
受取手形及び売掛金	7,054	7,192
商品及び製品	1,224	1,021
仕掛品	1,214	1,219
原材料及び貯蔵品	1,364	917
その他	625	444
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	19,162	18,860
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,529	3,625
機械装置及び運搬具（純額）	5,467	5,221
その他（純額）	2,620	2,645
有形固定資産合計	11,616	11,492
無形固定資産		
投資その他の資産	189	173
投資有価証券	2,915	3,285
その他	391	455
貸倒引当金	△0	—
投資その他の資産合計	3,305	3,740
固定資産合計	15,111	15,407
資産合計	34,274	34,267
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,933	4,461
短期借入金	399	411
未払法人税等	535	703
役員賞与引当金	11	—
賞与引当金	369	361
その他	2,392	2,377
流動負債合計	8,642	8,314
固定負債		
長期借入金	52	88
退職給付引当金	465	451
その他	415	602
固定負債合計	934	1,142
負債合計	9,576	9,457

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,808	4,808
資本剰余金	2,742	2,742
利益剰余金	17,281	16,876
自己株式	△834	△560
株主資本合計	23,998	23,867
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,136	1,358
為替換算調整勘定	△554	△514
評価・換算差額等合計	581	843
新株予約権	117	98
純資産合計	24,697	24,810
負債純資産合計	34,274	34,267

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	12,566	16,196
売上原価	10,345	12,870
売上総利益	2,220	3,325
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	265	340
報酬及び給料手当	429	458
役員賞与引当金繰入額	8	11
賞与引当金繰入額	42	67
退職給付費用	48	51
その他	798	864
販売費及び一般管理費合計	1,592	1,794
営業利益	628	1,531
営業外収益		
受取配当金	22	25
物品売却益	19	39
その他	52	23
営業外収益合計	95	88
営業外費用		
為替差損	81	244
その他	18	11
営業外費用合計	99	255
経常利益	624	1,363
特別利益		
有価証券売却益	15	—
その他	0	2
特別利益合計	15	2
特別損失		
固定資産廃棄損	8	7
退職給付費用	—	43
その他	0	0
特別損失合計	8	51
税金等調整前四半期純利益	631	1,315
法人税、住民税及び事業税	142	515
法人税等調整額	178	3
法人税等合計	321	518
少数株主損益調整前四半期純利益	—	796
四半期純利益	310	796

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	631	1,315
減価償却費	1,167	1,148
引当金の増減額 (△は減少)	△17	33
受取利息及び受取配当金	△26	△32
支払利息	12	10
固定資産廃棄損	8	7
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,167	82
たな卸資産の増減額 (△は増加)	534	△672
仕入債務の増減額 (△は減少)	565	502
その他	288	△157
小計	1,997	2,238
利息及び配当金の受取額	26	32
利息の支払額	△11	△10
法人税等の支払額	△17	△675
法人税等の還付額	263	19
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,259	1,604
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△701	△1,210
固定資産の売却による収入	0	3
投資有価証券の売却による収入	40	—
貸付金の回収による収入	7	6
その他	△2	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△656	△1,200
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	21	—
長期借入金の返済による支出	△35	△35
配当金の支払額	△135	△390
自己株式の取得による支出	△69	△274
その他	△45	△60
財務活動によるキャッシュ・フロー	△264	△761
現金及び現金同等物に係る換算差額	42	△28
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,380	△386
現金及び現金同等物の期首残高	4,730	7,964
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,111	7,577

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

① 報告セグメントの概要

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日至平成22年9月30日）

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象としております。

当社は、主に「精密加工金属製品・関連品」を生産・販売しており、国内においては当社及び子会社2社が、海外においては米国及びアジア（主に中国、ベトナム、タイ）の各地域の現地法人がそれぞれ担当しております。

現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品については各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「米国」及び「アジア」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントでは、「精密加工金属製品・関連品」のほかに、「その他製品」を生産・販売しております。

② 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	日本	米国	アジア	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	12,246	1,167	2,781	16,196	—	16,196
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,106	1	380	1,488	△1,488	—
計	13,353	1,168	3,162	17,684	△1,488	16,196
セグメント利益又は損失	1,640	△14	199	1,825	△293	1,531

(注) 1. セグメント利益の調整額△293百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△296百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社の業務管理部門等にかかる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 製品区分別の売上業績

製品区分の名称	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増 減	
	自平成21年4月1日 至平成21年9月30日		自平成22年4月1日 至平成22年9月30日			
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	前期比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
精密機能材料	1,352	10.8	1,730	10.7	378	28.0
精密機能部品	7,238	57.6	9,366	57.8	2,127	29.4
サスペンション	1,856	14.8	2,116	13.1	259	14.0
プリンター関連	1,192	9.5	1,689	10.4	496	41.6
デジトロ精密部品	871	6.9	1,204	7.4	332	38.2
その他製品	55	0.4	89	0.6	34	61.8
合 計	12,566	100.0	16,196	100.0	3,629	28.9

[精密機能材料]

エンジン用途の精密異形材及び弁ばね用線の販売が好調だったことにより、17億30百万円（前年同期間比28.0%増）となりました。

[精密機能部品]

弁ばね、エンジンスターター用リングギアやミッション用精密ばねを中心に全体的に販売が好調だったことにより、93億66百万円（前年同期間比29.4%増）となりました。

[サスペンション]

急速な円高の影響と需要の減速や量産立上げ時期の遅れから21億16百万円（前年同期間比14.0%増）となりました。

[プリンター関連]

軽量タイプのローラーが量産開始となり、またチューブローラーが引き続き好調だったことにより、16億89百万円（前年同期間比41.6%増）となりました。

[デジトロ精密部品]

主に光通信用部品の売上回復により、12億4百万円（前年同期間比38.2%増）となりました。

(2) 海外売上高

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年9月30日）

	北アメリカ	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	811	484	3,737	65	5,098
II 連結売上高（百万円）					12,566
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	6.5	3.9	29.7	0.5	40.6

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日至平成22年9月30日）

	北アメリカ	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	1,530	333	5,060	89	7,013
II 連結売上高（百万円）					16,196
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	9.5	2.1	31.2	0.6	43.3

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北アメリカ……アメリカ合衆国、カナダ、メキシコ

(2) ヨーロッパ……ドイツ、スイス、オランダ

(3) アジア……中国、韓国、タイ、ベトナム、インドネシア

(4) その他の地域……ブラジル

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。